

発 言 通 告 書

発言者氏名	嘉山淳平
発言の会議	令和2年 9月16日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長

【件名及び発言の要旨】

1 さらなるデジタル・ガバメント推進による行政改革について

- (1) デジタル・ガバメント推進に関する包括連携協定の残り期間約3か月時点でのデジタル・ガバメント推進における進捗への市長評価について
- (2) 市民がまちなかで発見した修繕が必要な箇所をウェブや携帯のアプリケーション上で通報・レポートを上げて情報集約するシステムに対する市長の認識について
- (3) ITを活用してまちの道路などのハード面を効率的に修繕するための市民レポートシステムの導入について
- (4) 紙で申請・処理している出勤簿などの庶務事務手続のデジタル化について
- (5) 市長が言う「一気にデジタル化の改革を進めていく」ための官民連携による間口を広げる重要性について

2 コロナ禍での観光立市への取組について

- (1) コロナ禍における観光ニーズを踏まえ、横須賀が持つ価値を

今こそ発信することについて

- (2) コロナ禍でも密にならない農業体験・漁業体験などの着地型観光を本市観光の目玉の一つとして推進することについて
- (3) サイクルスタンドがある飲食店などの情報を把握し、ホームページなどで情報提供するなど、サイクリストが訪れやすい環境整備の重要性について
- (4) 市内ではマリンスポーツが浸透しつつあり、今後、市としてシーカヤックやSUP体験を組み合わせた着地型観光コンテンツを民間事業者と協力して開発していくことについて
- (5) 本市は、キャンプをするには最適な環境があり、そうした環境を最大限活用するため、市内でキャンプを実施できるようなエリアを推奨することについて

3 民間によるフィルムコミッションの展開について

- (1) 既存のメディアデスクでの受入れ体制を見直し、民間事業者にフィルムコミッション業務を移管し、市と連携しながら独立採算で展開していくことについて